

## 2022（令和04）年度 東北アジア研究センター共同研究報告書

提出 2023（令和5）年 5月19日

代表者 程永超

（本報告書はセンター内外への公開を原則とします）

研究題目	和文）狩野文庫所蔵朝鮮通信使関係資料の基礎的研究 英文）A Basic Study on Manuscripts Related to Joseon Missions to Japan in the Kokichi Kano Collection			
研究期間	2021（令和3）年度 ～ 2024（令和6）年度（3年間）			
研究領域	（C）移民・物流・文化交流の動態			
研究組織	氏名	所属・職名	専門分野	役割
	程永超	東北アジア研究センター・准教授	17～19世紀東アジア国際関係史	通信使筆談唱和集の分析
	片岡龍	文学研究科・教授	日本思想史、東アジア比較思想	通信使と日本儒学者との交流の分析
	池内敏	名古屋大学人文学研究科・教授	日本近世史、近世日朝関係史	通信使来聘関係記録の分析
研究経費	学内資金	センター長裁量経費 300,000円		
	外部資金（科 研・民間等）		[小計]	
	合計金額	300,000円		
研究の目的と本年度の成果の概要 （600-800字の間で 専門家以外にも理解 できるようまとめて ください。）	<p>本共同研究の目的は、狩野文庫に所蔵されている朝鮮通信使関係史料を整理し、日本や韓国さらに世界各地に所蔵されているものと比較し、書誌的な情報を究明する上で、通信使と日本の儒者との筆談唱和について系統的に考察することである。これらの資料を通じて、林家や新井白石をはじめ、通信使と儒学者との交流、ひいては東アジアにおける文化交流などについても考察する。こうした多面的な文書活用によって、近世日朝関係史や東アジア国際関係史のみならず、東アジア思想史などにおける新知見の獲得を期待している。</p> <p>2022年度は筑波大学附属図書館特別展「孔子をまつる：歴聖大儒像の世界」に合わせて開催された「シンポジウム徹底解剖！狩野山雪「歴聖大儒像」」において、「朝鮮通信使と「歴聖大儒像」」というタイトルで招待講演を行った。具体的には、林羅山から1636年朝鮮通信使副使金世濂へ「歴聖大儒像」の賛文依頼について、『羅山先生文集』と『海槎録』と照らし合わせたところ、羅山の嘘を看破し、羅山の朝鮮儒教へのコンプレックスを究明した。また、狩野文庫に所蔵されている筆談唱和集を活用して、日朝知識人の筆談における「釈奠」（孔子祭礼）の記録を分析した。</p> <p>ほかに、徳川林政史研究所に所蔵されている『朝鮮通信総録』と狩野文庫に所蔵されている『朝鮮通信総録』の比較作業を進めている。</p>			
本年度の活動における東北アジア地域研究としての意義につ	朝鮮通信使は朝鮮から日本に派遣されている外交使節であり、日本史・朝鮮史・日朝関係史のみならず、東北アジアの歴史においても極めて重要な役割を果たした。今年度の成果は、近世東アジア文化交流史や日本美術史の多角的な解明に役立つものだと考えられる。			

いてアピール				
研究集会・企画	研究会・国内会議・講演会など： 回	国際会議： 回		
	研究組織外参加者（都合）： 人	研究組織外参加者（都合）： 人		
研究成果	学会発表（ 2 ）本	論文数（ 1 ）本	図書（ ）冊	
専門分野での意義	[専門分野名] 日本近世史、日本思想史、東アジア国際関係史、日本美術史	[内容] 本研究は狩野文庫に所蔵されている朝鮮通信使関係史料の整理を通じて、世界各地に分散されている朝鮮通信使関係史料と比較・連携して研究することができる。		
学際性の有無	[ 有 ]	参加した専門分野数：[2] 分野名称[日本史、日本思想史]		
文理連携性の有無	[ 無 ]	特筆事項：		
社会還元性の有無	[ 無 ]	[内容]		
国際連携	連携機関数： 0	連携機関名：		
国内連携	連携機関数： 1	連携機関名： 名古屋大学		
学内連携	連携機関数： 1	連携機関名： 文学研究科		
教育上の効果	参加学生・ポスドクの数： 0	参加学生・ポスドクの所属：		
第三者による評価・受賞・報道など	特になし			
研究会計画全体の中での当該年度成果の位置づけと今後の課題	今年度は二年目であり、整理した史料を活用しはじめていた年であった。筑波大学附属図書館に所蔵されている「歴聖大儒像」における通信使の賛文が現れた背景を究明し、日本美術史の研究者と連携することになった。 次年度は、これをきっかけに、研究発表などを通じて、狩野文庫所蔵の朝鮮通信使関係史料を活用したいと考えている。			
最終年度	該当 [無]			

<b>本共同研究に関わる業績（発表予定含む）</b>
<p>[学会発表]</p> <p>程永超「朝鮮通信使と歴聖大儒像」、シンポジウム 徹底解剖！狩野山雪「歴聖大儒像」 2022年11月5日、筑波大学</p> <p>程永超「朝鮮通信使と「歴聖大儒像」」第十五回「訳官使・通信使とその周辺」研究会 2023年1月7日、オンライン</p> <p>[雑誌論文]</p> <p>程永超「朝鮮通信使と歴聖大儒像」『シンポジウム 徹底解剖！狩野山雪「歴聖大儒像」報告論文集』27-42 2023年3月</p>

\*ファイル名は KyodoRpt\_年度\_代表者ローマ字とする。二つある場合、代表者名の後に 1, 2 と記入する（例 KyodoRpt\_2013\_oka1）。